



腹腔鏡手術を疑似体験する参加者ら

常磐病院は10日、いわき市の同病院で、医師を目指す高校生が手術を体験するイベント「手術室でドクター体験」を初めて開き、参加者が医療と触れ合った。子どもたちに医療への関心を深めてもらおうと、同病院は昨年从小中学生とその保護者を対象に体験会を開いてきた。今年から対象者を広げ、新たに高校生向けにも企画。3人が参加した。

同病院の外科系の医師や看護師、臨床工学技士の指導の下、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作や腹腔鏡手術の疑似体験、VR（仮想現実）ゴーグルを着用しての手術などを体験した。座談会も開き、研修医と医師を志した理由や大学受験について語り合った。小さな頃から医療への関心があったという、いわき秀英高1年の大原来実さん（15）は「医師の大変さを知

りたくて参加した。手術は楽しいけど難しかった」と話した。

高校生が手術を体験

常磐病院 支援ロボット操作やVR

▲8月17日 福島民友新聞掲載

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。（330字程度）

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
どうやって
(How)

なぜ
どうして
(Why)

みなさんなら、座談会で医師や看護師、技師の方々にどんなことを聞いてみたいですか？



「ジュニア窓」にとうこうしよう

福島民友投稿のページ「窓」に送る